第二回「春の青空大試食会」　参加者の声より

2016年3月5日　生活クラブ本部センターにて　参加者　61家族（大人76人、子ども45人）

【試食品の種類】
とても多くて。日頃買おうかと迷っていたものがあったのは嬉しかった。

【伊賀越㈱】
生活クラブ専用のタンクでお醤油を作っている。手間やコストをかけても、「食べる人のために良いものをつくる」想いが伝わってきた。

【コーヒー焙煎ワーカーズ　珈琲工房まめ福】
生産地の違う3種類の飲み比べをして味の違いが分かった。コーヒー豆は注文を受けてから1週間以内に焙煎するので、届くのが今から楽しみ。

【エスケー石鹸】
ふきんの漂白は、塩素系でないと無理だと思っていたが、酸素系漂白剤と粒状せっけんできれいになり、驚いた。

【丸菱製麺】
滋賀県の小麦をこだわって使っている話を聞いた。安心して食べることが出来るものを作り続ける「食」に対する思いが伝わってきた。TPPで暮らしが変わっていくことを心配されていたが、作り手だけでなく、私たち消費者側が学んでいかなければ、意識は変わらず、経済優先の社会に流されていってしまうのだなと感じた。あたたかくて、コシのあるおうどんのような雰囲気の方で、これからも応援したいと思った。

【丸本】
国内でも希少な純国産鶏種にこだわっている。飼育方法や飼料もきちんとされていて、安全な肉を食べられる安心感がありがたいと思った。買い続けます。

【山本農園】
冷凍梅でジャムの作り方を、とても丁寧に教えてくださった。今まで梅系の食べ物や飲み物を避けてきたのに、梅シロップがすごくおいしく飲めたので、夏にぜひ作りたい。冷凍梅を少し頂いて帰ったので、さっそく作った。

【関西事業部】
牛肉はほとんど注文したことが無かった。今回試食してみて、予想以上のおいしさに驚いた。注文しようと思う。

（実行委員長　木田洋子）

びんのリユースクイズ

57名の回答がありました。
ありがとうございました。
抽選で20名の方にミニサンプルを差し上げます。

Q1　Rびんを知っていますか？ → はい 57名、いいえ 0名

Q2　空きびんを返却するとき、ラベルをはがしていますか？ → はい 47名、いいえ 7名、場合によりどちらも（しょうゆのびんはそのままで良いと言われていたので）

Q3　Rびんのうち、牛乳びんは平均何回リユースされるでしょうか？ → 20回11名、30回25名、50回4名
※ 牛乳びんの回収率は98%
平均50回リユースされています

Q4　現在は8種類のリユースびんを使っています。その中に詰めている消費材は何種類でしょうか？ → 25種類20名、45種類25名、65種類4名
※ 正解は65種類

Q5　マヨネーズのラベルのはがし方を知っていましたか？ → はい13名、いいえ42名
※ ピンクのふたのマヨネーズびんは、水に漬けるとラベルがはがれるようになりました。

Q6　ご意見・質問

・びんのリユースも必要かも知れませんが、油っぽいびんを洗剤で洗いそれを流す。どちらが良いのか悪いのか、よく判りませんね。
・ラベルをはがすのは限界がありますし、結局また工場できれいにするのなら、あまり家庭でがんばっても仕方ない気もするのですが。
→ 使い終わってすぐに水だけで洗ってご返却ください。洗びん工場で80℃で2.0～2.5%濃度の苛性ソーダで洗います。これで、油脂やたんぱく質等を分解・殺菌し、洗浄後に温水できちんと濯ぎます。ラベルやふたが取れない時は無理をせずそのままお返しください。はさみ等でこじ開けるとケガをすると危ないし、ガラスにキズが付き、リユースできなくなります。

・びんの口についているプラスチックのフタが途中で切れることが時々あります。
→ 冬場は気温が低いので、プラスチックが硬くなり、あけ難いことがありますが、温水でキャップを温めるとあけやすくなりますので、お試しください。
（外すのが難しい場合は、無理せず、そのままお出し下さい。）

・ゴミが減って良いシステムだと思います。はちみつのびんや、全てのびん商品をRびんにすることは難しいのでしょうか。実現したら嬉しいです。
→ Rびんの回収率の低下、空のRびんを輸送するルート、生産者の製造ラインなど、課題は多いですが、引き続き組合員から要望していきます。

・リユースびんの再利用率は何%くらいかな？と気になりました。
→ びんの種類にもよりますが、Rびんの回収率は関西の生活クラブ全体で70.2%、再利用されるのは平均3回くらいです。Rびんのシステムを維持するためにも、みんなで協力しましょう。

・消費材の中でもRびんかそうでないかも、注文する基準のひとつにする位、協力したいと思っています。個包装の菓子はできるだけやめるなどいつも環境負荷を頭におきます。

パワーシフト

「電気」の共同購入についてのアンケート

61名の回答がありました。
ありがとうございました。

Q1　「電気」も消費材であるという生活クラブの考え方は理解していただけましたか？ → はい58名、いいえ0名

Q2　電気をどこから調達しているかをすべて明らかにし、しかも持続可能な自然エネルギーからの調達を優先するという「生活クラブ」の方針に納得していただけましたか？ → はい59名、いいえ1名

Q3　生活クラブの「電気」共同購入に興味がありますか？ → はい41名、いいえ16名

Q4　3月下旬から予約登録を受け付けます。 → 登録します11名、登録しません23名、資料が欲しい23名

Q5　ご意見　多数のご意見をいただきましたが、紙面の都合上、まとめさせていただきました。

・我が家は太陽光パネルを取り付けて関電に売電している。関電以外から買うことができるのでしょうか？
→ 売電は今まで通り関電に、買うのは他からでも構いません。

・個人的に太陽光発電反対だと思っているので、今のところ登録は考えていない。（製作・撤去・処分までトータルで見ると環境に優しいと言えないから）
→ 生活クラブエナジーでは、近隣の生活者の環境を壊さない設置場所を選び、撤去・処分まで責任を持ちます。また、毎月の電気料金の5%を省エネや自然エネルギー推進の基金とします（任意）。

・マンションなので、確認してみます。

・自宅が太陽光発電とオール電化のため今は考えていないです。

・災害時の復旧作業はどこがやってくれるのか？トラブルがあった時、すぐに対応してくれるのか不安なことが多い。
→ 送配電線のメンテナンスや屋内配電盤などの保安調査は従来の電力会社に委託します。トラブル時には契約した電力会社にお問い合わせください。

・家族との意見が合わず難しいです。